

令和3年第4回定例会・一般質問

○日 時 令和3年12月9日（木）午前9時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	河村 仁志	<p>1. 第7次智頭町総合計画について（福祉課・企画課）</p> <p>金児町長は令和2年第2回定例会の提案理由で8つの公約を掲げられて、「第7次智頭町総合計画」及び「第2期智頭町総合戦略」との整合性を図りながら計画的に進めると述べられました。8項目の公約で、持続可能な開発目標（SDGs）の17目標の11（住み続けられるまちづくりを）が公約の4項目に該当すると見受けられる。住み続けられるまちづくりでの視点から、健康・環境整備・仲間づくりの項目について町長の所信を問う。</p> <p>(1) 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくりの基本理念の方針として智頭町ならではの自然やつながりで健康長寿な暮らしとあるが、高齢化、集落戸数の減少などの現状を踏まえ、ミニディ・いきいき体操の開催など健康長寿対策は課題解決を図りながらどのように進めていくのか。</p> <p>(2) 町民の安心な暮らし・活動を支えるための環境整備として地域公共交通は今後重要な施策と考える共助交通の導入を図りながら、実証後の取り組み・方向性など体制運用はいつ頃か。</p> <p>(3) 活動を広げる仲間づくり、小さなつながりを幾重に連なるコミュニティは地区振興協議会などの各地区団体なども加えた連携を含め今後どのような施策で進めていくのか。</p>	9:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
2	大河原昭洋	<p>1. デジタル田園都市国家構想について（総務課・企画課） 政府はデジタル先進技術の普及を通じて地方と都市の差を縮める目的で「デジタル田園都市国家構想」を進めようとしている。具体的な施策は示されていないが、地方でデジタル基盤を整備し、医療の充実やスマート農業、教育など地域課題の解決を支援する新たな交付金を創設するとされている。</p> <p>(1) 平成27年度に始まった地方創生とデジタル田園都市国家構想の違いをどのように認識しているのか。</p> <p>(2) デジタル技術を活用した本町の今後の活性化策として、現在足りていないもの、今後必要とされているものは何と考えているのか。</p> <p>2. J-クレジットの取り組みについて（山村再生課） 本町ではこれまでにカーボンオフセットの取り組みが行われてきたが、事業の終了に伴い現在実施されていない。本町の持続可能な林業振興を推進するためにも森林整備の財源確保は重要と考える。現在名称はJ-クレジット制度と発展的移行されているが、この取り組みを再開し推進する考えはないか。</p>	9:45
3	岡田 光弘	<p>1. 空き家対策について（企画課・税務住民課） (1) 全国的に増加傾向のある空き家について、本町での現状と推移はどうか。また住民の生活環境に与える影響はどうか。</p> <p>(2) 国の空き家対策の推進に関する特措法にもとづく智頭町空き家対策計画の計画趣旨と現在までの運用についての現状認識はどうか。</p> <p>(3) 空き家対策の将来的な展望と町と住民が一体となった取り組みについて。</p> <p>2. 地域通貨の導入運用と展望について（企画課） (1) 実証実験を経て本年2月より本格運用されているまちのコイン「てご」導入の趣旨と現在までの運用状況について。</p> <p>(2) 今後智頭町の地域通貨が、多くの住民に普及し、ひとつのインフラとして定着していくための課題と展望について。</p>	10:35

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
4	田中 賢	<p>1. 「智頭の山と暮らしの未来」について (山村再生課)</p> <p>(1) 2008年3月から10年間にわたり「智頭林業・木材産業再生ビジョン」が作成され推進してきたとあるが、掲げられた四つのビジョンに対してその成果や課題についての検証作業はどのように行われたか。</p> <p>(2) 2020に策定された「智頭の山と暮らしの未来ビジョン」に掲げられた四つの柱について、実現に向けてどのような政策や施策がとられどのように進められているのか。</p>	11:10
5	仲井 茎	<p>1. 防災の観点からみた智頭町の山林について (山村再生課)</p> <p>(1) 智頭町の山林は、防災の観点からみて現在どのような状態であるのか。</p> <p>(2) 現在行っている対策と今後の対策は。</p> <p>2. 不登校児の学びの権利について (教育課)</p> <p>(1) 現在の不登校児における、多様で適切な学習活動の担保はどのようにになっているのか。</p> <p>(2) 前回の質問の中で、スクールカウンセラーなどの不登校対応をしているとのことであったが、どのような評価をしているのか。</p> <p>3. 本町のおせっかいのまちづくり宣言について (福祉課)</p> <p>本年で宣言をしてから7年になります。令和2年からは、小・中学校の児童生徒に対して「おせっかいチャレンジカード」の取り組みが始まりました。この取り組みに対しての効果と評価は。</p>	13:00
6	宮本 行雄	<p>1. 今後の「育みの郷」の構想について (福祉課)</p> <p>(1) 育みの郷構想は7年前、地方創生事業としてスタートしました。平成29年9月定例会と令和2年3月で2名の前議員が産婦人科医について聞いています。当時の町長は答弁で命を預かるということは安易とは考えていません。自分の考えに賛同してくれる医師を、見つけようとしてる。と、答弁しています。現在、町長の所信と今後の対応をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 育みの郷では、現在どのような事業 (相談・講座) が実施されているのか。利用者数の推移は現在どのようなになっているか。</p> <p>(3) 今後の「育みの郷」の、事業等についての具体的な構想をどのように、お考えか。</p>	13:45

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
7	谷口 翔馬	<p>1. 除雪体制について（地域整備課）</p> <p>（1）豪雪地帯である本町では、高齢化が進み、集落内除雪が課題となってくると思われるが、町長はどのように認識し、対策をどう考えているのか所信を問う。</p> <p>2. 森林セラピー事業について（山村再生課）</p> <p>（1）観客数がしたびになっている森林セラピー事業の打開策を今後どう展開していくのか町長の所信を問う。</p> <p>（2）新たな森林セラピー構築のために、キャンプと組み合わせる考えはないか。</p> <p>3. 子育て支援について（教育課）</p> <p>子育て物品等の貸し出しを導入する考えはないか教育長の所信を問う。</p>	14:25

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。